

第8回 みんなの会

平成31年4月3日

コミュニティ f

① 出席確認

② 「はじめて来た人にどんなことをやってみたいのか聴こう」19:00~19:30

職業は植木屋です。30年後には焼却場は移動すると思うが、植木は30年後にはいい味を出してくる。できれば子供たちにいいものを残したい。最初の設計が大事だと考えて参加した。1年中花が咲いて、下草が青々としているのが、来てくれる人には良い。広見公園は花が余りない。

(みんなの会から説明)

ビオトープは、5月8日に集中して話す予定です。自然を復元する、なるべく工事終了後から遷移を見せるのを目的とするビオトープと、四季折々の花を高木・低木・下草と組み合わせてみせる公園では目的が違うので、分けて話をしてもらいたい。おっしゃっている植栽は、公園や建物の外側の並木の話ではないでしょうか。

1年草と多年草がある。ホームセンターで売られているのは季節ごとに商品の入れ替えを行っており1年草が多い。しかし、植栽には多年草で3~5年植え替える必要のないものがよいのではないかな。

緑化指導委員会で原案を考えることができる。面積と予算が決まればよい。特に富士市緑の課から協力要請があれば、造園業者の案の力の入れ方が違う。

私案だが、公園の原案をつくってきて、市役所が考えている案と見比べると、考え方をあわせていけるのではないかな。

環境についてというときには、ヘドロの問題があった。これは全国区の話である。この問題は取り上げるべきではないか。こういった取り組みがなされてきたか、どこかで説明があるといい。子供たちには学習する機会がない。プログラムとして取り上げてほしい。

③ 「具体的にどんな講座をしたいのかあげてみましょう」19:30~20:00

参加者の一人から例があがったので、次ページに掲載します。この講座以外に、焼却施設の案内をしたいそうです。

再生紙を使ったハガキづくり

再生紙は究極のリサイクルです。再生紙の製造工程を体験してみよう。富士市では洋紙の生産が多くあり、再生紙の製造が多くを占めています。古紙の種類もたくさんあります。また、紙漉きの中には、ためすきと流しすきがあります。牛乳パックやチラシからハガキをつくることで、古紙再生の過程をミニサイズで体験しましょう。

チラシからハガキを再生しよう

平成31年5月〇日（土曜日）9時～12時

定員10名

チラシを5～6枚持参ください。（色が付いていないほうがよい、光沢があっても大丈夫）

チラシをミキサーで細かくして、中性洗剤を入れて、バブリングして、脱墨をする。

牛乳パックからハガキを再生しよう

平成31年8月〇日（土曜日）9時～10時

定員10名

（牛乳パックのラミネートをはがすのは、講師が行います）

一般の古紙を利用してちり紙（昔のトイレトペーパー）をつくろう

平成31年11月〇日（土曜日）

定員10名

企業から提供を受けた産業古紙を利用して、ちり紙をつくりましょう

かぐや姫ミュージアムでは和紙を中心に教育が行われています。和紙づくりをしてみたい方はご紹介します。また、工場見学の事前学習の一つとして、紙の製造工程を体験できます。長年の経験で紙に関する質問ならどんどん答えます。

古紙再生の道具として、洗剤を入れてバブリングをするためのポンプが必要と考えます。施設での購入をお勧めされました。

④ 「みんなの会参加者募集の読み合わせと修正」 20：00～20：30

具体的な日付は、誤解を与えるのでやめる。具体的過ぎる描写は誤解を与えるのでやめる。

⑤ 「愛称&キャッチコピー募集のチラシをつくろう」 20：30～21：05

会議のあと、視覚性のよいようにみんなの会参加者が修正してくれた。

⑥ みんなの会参加者から、紙製品を使った家具を環境学習施設に使用してもらおうよう提案があった。1 ページ目はエコット（豊田市の環境学習施設）で10年使われている段ボール家具、2 ページ目は富士市でつくられている段ボール家具である。